

委託事業実施内容報告書

平成24年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【地域日本語教育実践プログラム(A)】

受託団体名 学校法人 国際学園

1. 事業名称

神奈川県日本語教育推進体制整備事業

2. 事業の目的

「生活者として外国人」の安定的自立のために社会参加できる日本語能力の定着

3. 事業内容の概要

「生活者としての外国人」の安定的自立のために社会参加を目指す日本語教育を行うことで、神奈川県における労働力不足に悩む業界を含め、労働人口の拡大の一助とする。また、「生活者としての外国人」が健康的かつ安全に、自立した生活を送り、地域住民との相互理解を図りつつ地域社会の一員として文化的な生活が送れるようにし、地域としての多文化共生に寄与する。

4. 運営委員会の開催について

【概要】

回数	開会日時	時間数	場所	出席者	議案	検討内容
1	H.24.6.30	2 時間	学校法人国際学園 横浜国際福祉専門学校 2 階非常勤講師控室	坂本翔子 豊田宗裕 伊東一郎 魚瀬美智子	日本語講師選定 広報手段 教材作成について	広報手段 教材作成
2	H.24.8.18	2 時間	同上	同上	応募状況 面接・指導方針 教材作成	指導方針 教材作成
3	H.24.11.3	2 時間	同上	同上	クラス進行状況 教材作成進捗状況	学習者のレベルの違い について 教材作成の進め方
4	H.25.3.16	2 時間	同上	同上	事業の総括 完了報告書について	事業の総括及び反省



5. 日本語教室の設置・運営

- (1) 講座名称 外国人のための日本語教室
- (2) 目的・目標 職場に必要な日本語能力のある人材の育成。職場に定着できるようになる。
- (3) 対象者 神奈川県に定住する外国人
- (4) 開催時間数(回数) 60 時間 (全 20 回)
- (5) 使用した教材・リソース
- (6) 受講者の総数 15 人
 (出身・国籍別内訳 ペルー8人、フィリピン2人、アルゼンチン2人、ベトナム1人、ブラジル1人、中国1人)
- (7) 受講者の募集方法
 チラシ(添付)、(公益財団法人) かながわ国際交流財団の多言語情報メール
 配信サービス、 B a n k A R T 1 9 2 9 B L O G
- (8) 日本語教室の具体的内容

日本語教室の設置運営

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要
1	平成24年8月25日 9:00～12:10	3時間	横浜国際福祉専門学校	8人	ペルー(5人)アルゼンチン(1人)フィリピン(1人)中国(1人)	日本語の発音	発声とともに日本語の長音、撥音、促音、拗音、アクセント、イントネーションの指導及び練習
2	平成24年9月15日 9:00～12:10	3時間	横浜国際福祉専門学校	13人	ペルー(8人)アルゼンチン(2人)中国人(1人)フィリピン(1人)ブラジル(1人)	自己紹介	初対面のあいさつ方法を教える。次に名前札を作成し、あいさつや簡単な自己紹介の方法を教え、実践
3	平成24年9月29日 9:00～12:10	3時間	横浜国際福祉専門学校	13人	ペルー(7人)アルゼンチン(2人)中国(1人)ベトナム人(1人)フィリピン(1人)ブラジル(1人)	人とかかわる	時宜を含むいろいろなあいさつを教え、実践。関連の漢字や文法の学習
4	平成24年10月6日 9:00～12:10	3時間	横浜国際福祉専門学校	9人	ペルー(4人)アルゼンチン(2人)ベトナム人(1人)フィリピン(1人)ブラジル(1人)	住居を確保維持する	住居の探し方、契約書の読み方を学び実践。関連の漢字や文法の学習
5	平成24年10月13日 9:00～12:10	3時間	横浜国際福祉専門学校	14人	ペルー(8人)アルゼンチン(2人)ベトナム人(1人)中国人(1人)フィリピン(1人)ブラジル(1人)	住居を確保維持する	引っ越しの仕方、転居、電気、ガス、水道等の手続の仕方を学び実践。関連の漢字や文法の学習
6	平成24年10月20日 9:00～12:10	3時間	横浜国際福祉専門学校	9人	ペルー(5人)アルゼンチン(2人)フィリピン(1人)ブラジル(1人)	社会の一員となる	各種手続の種類や内容、仕方を学び実践。関連の漢字や文法の学習
7	平成24年10月27日 9:00～12:10	3時間	横浜国際福祉専門学校	8人	ペルー(4人)アルゼンチン(1人)中国人(1人)フィリピン(1人)ブラジル(1人)	社会の一員となる	ゴミだしの方法、公共のマナーを学ぶ。関連の漢字や文法の学習
8	平成24年11月10日 9:00～12:10	3時間	横浜国際福祉専門学校	11人	ペルー(6人)アルゼンチン(1人)ベトナム人(1人)中国人(1人)フィリピン(1人)ブラジル(1人)	社会の一員となる	自治会や行事への参加できるよう学び実践。関連の漢字や文法の学習
9	平成24年11月17日 9:00～12:10	3時間	横浜市さつきが丘コミュニティハウス	8人	ペルー(4人)アルゼンチン(1人)ベトナム人(1人)フィリピン(1人)ブラジル(1人)	異文化体験	お茶会
10	平成24年11月24日 9:00～12:10	3時間	横浜市さつきが丘コミュニティハウス	8人	ペルー(5人)アルゼンチン(1人)フィリピン(1人)ブラジル(1人)	目的地に移動する	公共交通機関やタクシーの利用の仕方、地図の見方、道順の言い方などを学び、実践。関

							連の漢字や文法の学習
11	平成 24 年 12 月 8 日 9:00~12:10	3 時間	横浜国際福祉専門学校	9 人	ペルー(4 人)アルゼンチン(2 人)中国人(1 人)フィリピン(1 人)ブラジル(1 人)	目的地に移動する	公共交通機関やタクシーの利用の仕方、地図の見方、道順の言い方などを学び、実践。関連の漢字や文法の学習
12	平成 24 年 12 月 15 日 9:00~12:10	3 時間	横浜国際福祉専門学校	8 人	ペルー(4 人)アルゼンチン(1 人)中国人(1 人)フィリピン(1 人)ブラジル(1 人)	目的地に移動する	公共交通機関やタクシーの利用の仕方、地図の見方、道順の言い方などを学び、実践。関連の漢字や文法の学習
13	平成 24 年 12 月 22 日 9:00~12:10	3 時間	横浜国際福祉専門学校	9 人	ペルー(5 人)アルゼンチン(1 人)中国人(1 人)フィリピン(1 人)ブラジル(1 人)	異文化交流	クリスマス会
14	平成 25 年 1 月 12 日 9:00~12:10	3 時間	横浜国際福祉専門学校	8 人	ペルー(4 人)アルゼンチン(1 人)中国人(1 人)フィリピン(1 人)ブラジル(1 人)	余暇を楽しむ	余暇を過ごす場所や利用方法、施設の種類や制度を学ぶ。関連の漢字や文法の学習
15	平成 25 年 1 月 19 日 9:00~12:10	3 時間	横浜国際福祉専門学校	8 人	ペルー(4 人)アルゼンチン(1 人)中国人(1 人)フィリピン(1 人)ブラジル(1 人)	通信する	郵便・宅配便・インターネット・電話の利用の仕方を学び実践。関連の漢字や文法の学習
16	平成 25 年 1 月 26 日 9:00~12:10	3 時間	横浜国際福祉専門学校	8 人	ペルー(4 人)アルゼンチン(1 人)中国人(1 人)フィリピン(1 人)ブラジル(1 人)	通信する	郵便・宅配便・インターネット・電話の利用の仕方を学び実践。関連の漢字や文法の学習
17	平成 25 年 2 月 9 日 9:00~12:10	3 時間	横浜国際福祉専門学校	8 人	ペルー(5 人)中国人(1 人)フィリピン(1 人)ブラジル(1 人)	通信する	郵便・宅配便・インターネット・電話の利用の仕方を学び実践。関連の漢字や文法の学習
18	平成 25 年 2 月 16 日 9:00~12:10	3 時間	横浜国際福祉専門学校	8 人	ペルー(4 人)アルゼンチン(1 人)中国人(1 人)フィリピン(1 人)ブラジル(1 人)	安全を守る	事故に備え、対応することを学び実践。関連の漢字や文法の学習
19	平成 25 年 2 月 23 日 9:00~12:10	3 時間	横浜国際福祉専門学校	8 人	ペルー(4 人)アルゼンチン(1 人)中国人(1 人)フィリピン(1 人)ブラジル(1 人)	安全を守る	災害に備え、対応することを学び実践。関連の漢字や文法の学習
20	平成 25 年 3 月 2 日 9:00~12:10	3 時間	横浜国際福祉専門学校	8 人	ペルー(4 人)アルゼンチン(1 人)中国人(1 人)フィリピン(1 人)ブラジル(1 人)	異文化体験 異文化交流	着物の着付け、終了式、交流会

(9) 特徴的な授業風景（2～3回分）

日本語教室：レベル差が激しかったため、2名の教員によるTTを行い、個々のレベルアップにつながった。

日本語教室指導内容



大友日本語教師

吉澤日本語教師

(10) 目標の達成状況・成果

当初の目標は達成できたと考える。

(11) 改善点について

広報活動をより効果的に行い、クラス内での日本語能力レベルの差をより小さくすること。

開講日を月平均2回程度にできると出席率も向上するのではないかと考えられた。

そのためには、学習希望者の登録を行うなど、委託契約後すぐに開講できるような準備が必要。

6. 日本語教育を行う人材の養成・研修の実施

- | | | | |
|-----|-------------|-------------------|--------|
| (1) | 講座名称 | 外国人補助教員養成講座 | |
| (2) | 目的・目標 | 外国人日本語補助指導者の育成。日本 | |
| (3) | 対象者 | | |
| (4) | 開催時間数（回数） | 60 時間 | (全20回) |
| (5) | 使用した教材・リソース | | |

(6) 受講者の総数 13 人

(出身・国籍別内訳 ペルー5人、中国4人、フィリピン2人、米国1人、ブラジル1人)

(7) 受講者の募集方法

チラシ、公益財団法人かながわ国際交流財団の多言語情報配信メールサービス、
BankART1929BLOG

(8) 養成・研修の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要
1	平成24年8月25日 9:00~12:10	3時間	横浜国際福祉専門学校	10人	ペルー(4人)、中国(2人)、フィリピン(2人)、米国(1人)、ブラジル(1人)	日本語の発音	発声とともに日本語の長音、撥音、促音、拗音、アクセント、イントネーションの指導及び練習
2	平成24年9月15日 9:00~12:10	3時間	横浜国際福祉専門学校	11人	ペルー(5人)、中国(3人)、フィリピン(1人)、米国(1人)、ブラジル(1人)	自己紹介	自己紹介、指導者の役割、学習者のニーズ
3	平成24年9月29日 9:00~12:10	3時間	横浜国際福祉専門学校	11人	ペルー(5人)、中国(2人)、フィリピン(2人)、米国(1人)、ブラジル(1人)	コースデザイン	コースデザイン、学習者に対する心がけ、授業の流れ(導入、練習、応用)
4	平成24年10月6日 9:00~12:10	3時間	横浜国際福祉専門学校	7人	ペルー(2人)、中国(3人)、フィリピン(1人)、ブラジル(1人)	教材分析	教材分析、教材研究
5	平成24年10月13日 9:00~12:10	3時間	横浜国際福祉専門学校	9人	ペルー(3人)、中国(3人)、フィリピン(1人)、ブラジル(1人)	初級の教え方	教材研究、初級の教え方(導入、練習、応用、フィードバック)
6	平成24年10月20日 9:00~12:10	3時間	横浜国際福祉専門学校	9人	ペルー(4人)、中国(2人)、フィリピン(1人)、米国(1人)、ブラジル	起案の書き方	教材研究、教案の書き方

					(1人)		
7	平成24年10月 27日 9:00~12:10	3 時 間	横浜国際福祉専門 学校	8人	ペルー(3人)、中 国(2人)、フィリ ピン(12人)、米国 (1人)、ブラジル (1人)	起案の作り 方	教案の作り方(時間配 分、授業の流れ)
8	平成24年11月 10日 9:00~12:10	3 時 間	横浜国際福祉専門 学校	8人	ペルー(3人)、中 国(2人)、フィリ ピン(1人)、米国 (1人)、ブラジル (1人)	授業に臨む	授業に臨むときの注 意、板書の仕方、教材 研究、教案の書き方
9	平成24年11月 17日 9:00~12:10	3 時 間	横浜市さつきが丘 コミュニティーハウ ス	7人	ペルー(3人)、中 国(2人)、フィリ ピン(1人)、ブラジル (1人)	異文化体験	お茶会
10	平成24年11月 24日 9:00~12:10	3 時 間	横浜市さつきが丘 コミュニティーハウ ス	7人	ペルー(3人)、フィ リピン(1人)、米 国(1人)、ブラジ ル(1人)	デモ授業	教材研究、教案の書き 方、デモ授業
11	平成24年12月 8日 9:00~12:10	3 時 間	横浜国際福祉専門 学校	8人	ペルー(3人)、中 国(2人)、フィリ ピン(1人)、米国 (1人)、ブラジル (1人)	フィードバッ ク	実習、フィードバック
12	平成24年12月 15日 9:00~12:10	3 時 間	横浜国際福祉専門 学校	7人	ペルー(3人)、中 国(2人)、フィリ ピン(1人)、米国 (1人)	フィードバッ ク	実習、フィードバック
13	平成24年12月 22日 9:00~12:10	3 時 間	横浜国際福祉専門 学校	6人	ペルー(4人)、中 国(1人)、フィリ ピン(1人)、ブラジル (1人)	フィードバッ ク・	実習、フィードバック、ク リスマス会
14	平成25年1月 12日9:00~1 2:10	3 時 間	横浜国際福祉専門 学校	7人	ペルー(4人)、中 国(1人)、フィリ ピン(1人)、米国 (1人)	人と付き合う	場面シラバスによる授 業の進め方

15	平成 25 年 1 月 19 日 9:00～12:10	3 時 間	横浜国際福祉専門 学校	5 人	ペルー(1 人)、中 国(2 人)、フィリ ピン(1 人)、米国 (1 人)	フィードバッ ク	実習、フィードバック
16	平成 25 年 1 月 26 日 9:00～12:10	3 時 間	横浜国際福祉専門 学校	6 人	ペルー(4 人)、中 国(1 人)、米国 (1 人)	住居を確保維 持する	場面シラバスによる授 業の進め方
17	平成 25 年 2 月 9 日 9:00～12:10	3 時 間	横浜国際福祉専門 学校	5 人	ペルー(4 人)、中 国(1 人)	フィードバッ ク	実習、フィードバック
18	平成 25 年 2 月 16 日 9:00～12:10	3 時 間	横浜国際福祉専門 学校	7 人	ペルー(3 人)、中 国(2 人)、フィリ ピン(1 人)、米国 (1 人)	フィードバッ ク	実習、フィードバック
19	平成 25 年 2 月 23 日 9:00～12:10	3 時 間	横浜国際福祉専門 学校	7 人	ペルー(4 人)、中 国(2 人)、米国 (1 人)	フィードバッ ク	実習、フィードバック
20	平成 25 年 3 月 2 日 9:00～12:10	3 時 間	横浜国際福祉専門 学校	8 人	ペルー(4 人)、中 国(2 人)、フィリ ピン(1 人)、米国 (1 人)	社会の一員と なる 異文化交流	場面シラバスによる授 業の進め方、終了式、 交流会

(9) 特徴的な授業風景 (2～3 回分)

デモ授業の繰り返しを行うことで実際に授業運営の基礎とした。

11 月 17 日 異文化理解講座「お茶会」の様子

横浜市立さつきが丘小学校内教室 吉澤日本語教師指導





日本語教室養成講座風景

(10) 目標の達成状況・成果

前回出席した者も含め学習優秀者に対して、指導教員から修了証の交付を依頼されたほど、当初の目標以上の成果が上がり、学習者間で、日本語指導というテーマを通しての新たな仲間づくりの場となった。

(11) 改善点について

クラス設定の回数、また参加しやすい体制が考えられる。

例えば、全20回のコースを8カ月間で行うのではなく、5カ月10回コースでテーマを絞り、違うテーマで次の5カ月10回コースを行ったり、同一学習者が2回異なる講座を学習できるようにしたり、仕事、または家庭環境で1コースだけを学習することなどを検討してもよいのではないかと考えた。

7. 日本語教育のための学習教材の作成

- | | | |
|-----|---------|---------------------------------|
| (1) | 教材名称 | 外国人のための冠婚葬祭マナーと子育て |
| (2) | 対象 | 神奈川県に定住する外国人 |
| (3) | 目的・目標 | 職場に必要な接遇マナー教材の作成。就労者の手引きとなる。 |
| (4) | 構成 | I 結婚式 II 葬式 III 一年を通した保育園とのかかわり |
| (5) | 使い方 | 外国人のいる保育園、地域の国際交流センターに置く |
| (6) | 具体的な活用例 | 保育士が活用、交際交流センターでは資料として活用 |
| (7) | 成果物の添付 | |

反省点：一つのテーマに絞り、より広く発展させるべきであった。

保育園に関しては、参考資料として添付した内容にまだまだ「生活者としての外国人」のために役立つ教材ができたと思えるが、力不足であった。

8. 事業に対する評価について

(1) 事業の目的

「生活者としての外国人」の安定的自立のために社会参加できる日本語力の定着

(2) 目標の達成状況・事業の成果

教材作成に関しては、今回が初めての挑戦で、不完全なままに終わってしまった点が編成点である。今後、継続して自作の教材を日本語教室でも活用できるよう、完成度を高めていきたい。また、今回協力していただいた保育所を初め、外国人を受け入れている保育園に、外国人を預かる保育園側の立場に立って、外国人とのコミュニケーションに役立つ教材を作成していきたい。

(3) 標準的なカリキュラム案の地域での活用について

標準的カリキュラム案は、生活上の必要場面での教材として、どのレベルの外国人にも応用ができ、今後も活用していきたい。

また、この教材をより有効に活用するためには、「読み・書き」を含めたレベル別クラス編成が必要だと感じられた。

(4) 地域の関係者との連携による効果、成果 等

地域の団体との連携という点では、今回は在日ペルー人の団体を初め、スペイン語圏の外国人団体・個人とのネットワークが構築できた点は一つの成果とみている。

過年度の実績としては、東南アジア系の学習者が主であったが、より多国籍になってきた。

(5) 改善点、今後の課題について

記述した点と重複するが、

1. 早期の広報
2. より多くの在日外国人団体との連携
3. 在日期間の長い（10年、20年以上）外国人に対する指導
4. 市区町村で行っている日本語教室との連携強化

平成 24 年度文化庁助成事業

外国人のための日本語講座

受講無料

定員:10 名

みなでたのしく
にほんごをまなびましょう！

2012 年 8 月 25 日 (土)

～

2013 年 3 月 2 日 (土)

土曜日・1 回 3 時間 (計 20 回 / 60 時間) を予定

▽ 横浜国際学園

横浜国際福祉専門学校

お申込み・お問い合わせは Mail : info@yicsw.ac.jp Fax : 045-972-3298